第４問対策

1 費目別計算・個別原価計算（仕訳）

時間 30 分

下記の一連の取引について仕訳しなさい。勘定科目は次の中から最も適当と思われるものを選ぶこと。なお、当工場では、間接材料費、間接労務費、間接経費に該当する費用は、当該勘定を経由して製造間接費に振り替えている。

原　　料　　費	材料内部副費	材料内部副費差異	補 助 材 料 費
工 場 消 耗 品	賃 金 ・ 給 料	賃　率　差　異	減価償却累計額
間 接 材 料 費	間 接 労 務 費	間　接　経　費	製 造 間 接 費
予　算　差　異	操 業 度 差 異	仕　　掛　　品	製　　品
当　座　預　金	現　　金	買　　掛　　金	売　　掛　　金
売　　上	売　上　原　価		

(1) 当月、原料7,500kg（購入代価4,000,000円）を掛けで購入した。当社は、購入代価に引取費用と材料内部副費予定配賦額（購入代価の５％）を加えて購入原価としている。なお、引取費用は購入時に小切手を振り出して支払っており、その額は300,000円（当社負担）であった。

(2) 当月の材料内部副費の実際発生額は210,000円であったので、（1）の材料内部副費予定配賦額との差額を材料内部副費差異勘定に振り替える。

(3) 工場消耗品260,000円および、補助材料1,540,000円を掛けで購入した。なお、補助材料の月初有高は150,000円、月末有高は190,000円であり、工場消耗品ならびに補助材料消費分を間接材料費勘定に振り替える。

(4) 当月払い出した原料は、製造指図書No.301向け1,950kg、製造指図書No.302向け3,300kg、製造指図書No.303向け1,600kgであった。原材料の計算には先入先出法にもとづく実際払出価格を用いている。なお、製造指図書No.301向けの消費が先であり、その後にNo.302、No.303の順で消費された。
原料の月初在庫は550kg（363,000円）、月末在庫は1,100kgであり、棚卸減耗が100kgは当月購入分から生じたものとする。

(5) 当月の直接工の労務費の実際消費額を計上する。なお、直接工の実際直接作業時間は、製造指図書No.301向けが800時間、No.302向けが700時間、No.303向けが700時間、すべての製造指図書に共通の実際間接作業時間は250時間、手待時間が50時間、休憩時間が80時間であった。当工場の直接工の予定賃率は１時間当たり1,200円である。

(6) 直接工の賃率差異を計上した。なお、前月未払高は900,000円、当月支払高3,200,000円、当月未払高は850,000円であった。

(7) 当月の間接工の労務費の実際消費額を計上する。前月未払高は190,000円、当月支払高1,000,000円、当月未払高は180,000円であった。

(8) 当月発生の減価償却費は500,000円、その他上記で判明している以外の間接経費は900,000円であり現金で支払った。

(9) 間接材料費、間接労務費、間接経費を製造間接費に振り替えた。

(10) 直接作業時間を配賦基準として製造間接費を各製造指図書に予定配賦した。なお、年間の製造間接費予算は、54,000,000円（うち、固定製造間接費予算は24,300,000円）、年間の予定総直接作業時間は27,000時間である。

(11) 当月の製造間接費の実際発生額は上に記載したものが全てである。製造間接費予定配賦額との差額を予算差異勘定と操業度差異勘定に振り替える。なお、製造間接費は公式法変動予算によって設定している。

(12) 製造指図書No.301と製造指図書No.302が完成した。ただし、当月の製造費用（直接材料費、直接労務費および製造間接費配賦額）は、上に記載したものが全てであり、製造指図書No.301には先月の製造費用2,017,000円が繰り越されてきている。

(13) 月初製品在庫はNo.203（製造原価4,000,000円）のみである。当月、No.203とNo.301を掛けにて顧客に引き渡した。販売価格はNo.203が6,000,000円、No.301が8,000,000円である。売上を計上するとともに当該製品を売上原価に振り替える。

© Copyright 2017 プロフェッショナル簿記. All rights reserved.

© Copyright 2017 プロフェッショナル簿記. All rights reserved.

第4問 1 答案用紙

	借方科目	金額	貸方科目	金額
(1)				
(2)				
(3)				
(4)				
(5)				
(6)				
(7)				

© Copyright 2017 プロフェッショナル簿記. All rights reserved.

	借方科目	金額	貸方科目	金額
(8)				
(9)				
(10)				
(11)				
(12)				
(13)				

© Copyright 2017 プロフェッショナル簿記. All rights reserved.

第4問 1 解答

	借方科目	金額	貸方科目	金額
(1)	原料費	4,500,000	買掛金	4,000,000
			材料内部副費	200,000
			当座預金	300,000
(2)	材料内部副費差異	10,000	材料内部副費	10,000
(3)	工場消耗品	260,000	買掛金	1,800,000
	補助材料費	1,540,000		
	間接材料費	1,760,000	工場消耗品	260,000
			補助材料費	1,500,000
(4)	仕掛品	4,143,000	原料費	4,203,000
	間接経費	60,000		
(5)	仕掛品	2,640,000	賃金・給料	3,000,000
	間接労務費	360,000		
(6)	賃率差異	150,000	賃金・給料	150,000
(7)	間接労務費	990,000	賃金・給料	990,000

© Copyright 2017 プロフェッショナル簿記. All rights reserved.

	借方科目	金額	貸方科目	金額
(8)	間接経費	1,400,000	減価償却累計額	500,000
			現金	900,000
(9)	製造間接費	4,570,000	間接材料費	1,760,000
			間接労務費	1,350,000
			間接経費	1,460,000
(10)	仕掛品	4,400,000	製造間接費	4,400,000
(11)	予算差異	125,000	製造間接費	170,000
	操業度差異	45,000		
(12)	製品	10,000,000	仕掛品	10,000,000
(13)	売掛金	14,000,000	売上	14,000,000
	売上原価	9,780,000	製品	9,780,000

© Copyright 2017 プロフェッショナル簿記. All rights reserved.

第4問 1 解説

1 材料費の計算

原料

月初原料 @660 円×550kg ＝363,000 円	当月消費（仕掛品勘定へ） No.301　@660 円×550kg＋@600 円×1,400kg ＝1,203,000 円 No.302　@600 円×3,300kg＝1,980,000 円 No.303　@600 円×1,600kg＝960,000 円
当月購入 @600 円×7,500kg ＝4,500,000 円	月末原料 @600 円×1,100kg＝660,000 円
	棚卸減耗費（間接経費勘定へ） @600 円×100kg＝60,000 円

材料内部副費

諸口 210,000 円	原料勘定へ 4,000,000 円×5%＝200,000 円
	材料内部副費差異勘定へ 貸借差額より 10,000 円

工場消耗品

買掛金 260,000 円	間接材料費勘定へ 260,000 円

補助材料費

月初在庫 150,000 円	間接材料費勘定へ 貸借差額より 1,500,000 円
買掛金 1,540,000 円	月末在庫 190,000 円

間接材料費

工場消耗品 260,000 円 補助材料費 1,500,000 円	製造間接費勘定へ 1,760,000 円

© Copyright 2017 プロフェッショナル簿記. All rights reserved.

2 労務費・経費の計算

賃金給料（直接工）

当月支払 3,200,000 円	前月未払 900,000 円
	当月消費（仕掛品勘定へ） No.301　@1,200 円×800 時間＝960,000 円 No.302　@1,200 円×700 時間＝840,000 円 No.303　@1,200 円×700 時間＝840,000 円 当月消費（間接労務費勘定へ） 共通@1,200 円×300 時間＝360,000 円
当月未払 850,000 円	賃率差異 貸借差額より 150,000 円

賃金給料（間接工）

当月支払 1,000,000 円	前月未払 190,000 円
	当月消費（間接労務費勘定へ） 貸借差額より 990,000 円
当月未払 180,000 円	

間接労務費

賃金給料（直接工） 360,000 円 賃金給料（間接工） 990,000 円	製造間接費勘定へ 1,350,000 円

間接経費

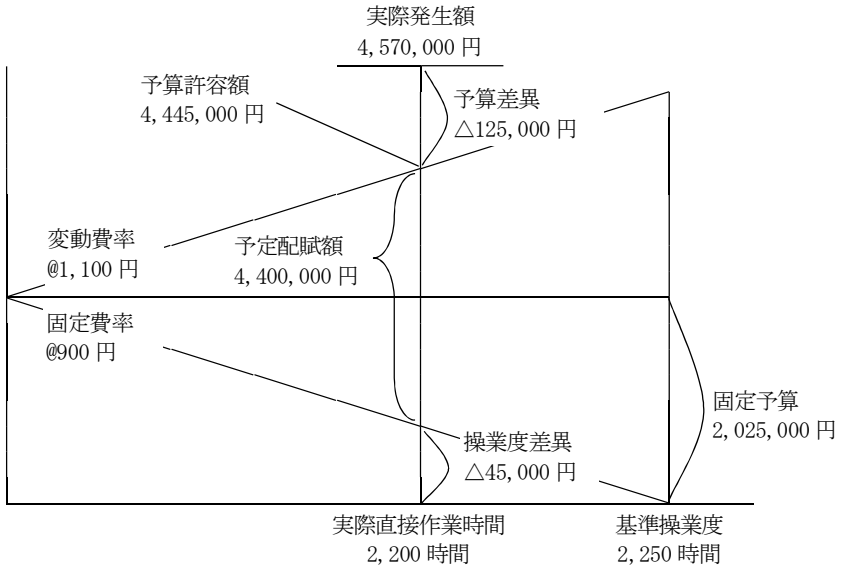
原料（棚卸減耗費） 60,000 円 減価償却累計額 500,000 円 現金 900,000 円	製造間接費勘定へ 1,460,000 円

© Copyright 2017 プロフェッショナル簿記. All rights reserved.

3 製造間接費の計算

製造間接費

間接材料費 1,760,000 円 間接労務費 1,350,000 円 間接経費 1,460,000 円	仕掛品勘定へ No.301　@2,000 円×800 時間＝1,600,000 円 No.302　@2,000 円×700 時間＝1,400,000 円 No.303　@2,000 円×700 時間＝1,400,000 円 合計 4,400,000 円
	予算差異 125,000 円 操業度差異 45,000 円



製造間接費配賦率：54, 000, 000円÷27, 000時間＝@2, 000円
固定費率：24, 300, 000円÷27, 000時間＝@900円
変動費率：@2, 000円－@900円＝@1, 100円
実際直接作業時間：800時間＋700時間＋700時間＝2, 200時間
予算許容額：@1, 100円×2, 200時間＋24, 300, 000円÷12ヵ月＝4, 445, 000円
実際発生額：1, 760, 000円＋1, 350, 000円＋1, 460, 000円＝4, 570, 000円
予算差異：4, 445, 000円－4, 570, 000円＝△125, 000円
操業度差異：@900円×（2, 200時間－27, 000時間÷12ヵ月）＝△45, 000円

© Copyright 2017 プロフェッショナル簿記. All rights reserved.

3 製品別計算と売上の計上

製造指図書別原価計算表

	No.301	No.302	No.303	合計
月初仕掛品	2,017,000			2,017,000
原　料　費	1,203,000	1,980,000	960,000	4,143,000
直接労務費	960,000	840,000	840,000	2,640,000
製造間接費	1,600,000	1,400,000	1,400,000	4,400,000
合　　計	5,780,000	4,220,000	3,200,000	
	完成 引渡済	完成	仕掛中	

仕掛品勘定

月初仕掛品 No.301　2,017,000 円	完成品 No.301　5,780,000 円 No.302　4,220,000 円 合計　10,000,000 円
当月投入 原料費　4,143,000 円 直接労務費　2,640,000 円 製造間接費　4,400,000 円	月末仕掛品 No.303　3,200,000 円

製品勘定

月初製品 No.203　4,000,000 円	売上原価 No.203　4,000,000 円 No.301　5,780,000 円
当月完成 No.301　5,780,000 円 No.302　4,220,000 円	月末製品 No.302　4,220,000 円

損益勘定

売上原価　9,780,000 円	売上　14,000,000 円

© Copyright 2017 プロフェッショナル簿記. All rights reserved.